



みどり三多摩ニュース

発行:みどり三多摩 <http://midori-3tama.net>

オープンフォーラム

10/22 (日) 14:00～ 立川女性センターアイム
立川駅北口5分 042-528-6803
参加費500円

いま、なんで 東京オリンピックなの?!

ゲスト 都議会議員 福士敬子さん
長野オリンピック報告 小山和久さん

レポート オリンピックを理由に強行されようとしている公共事業
・住民無視で事業化再開、環境破壊も心配な外環道
・高尾山の貴重な自然を壊す圏央道
・横田基地の軍民共用化＝基地の固定化

8月30日、日本オリンピック委員会(JOC)は2016年オリンピックの東京招致を決めました(IOC決定は2009年10月)。オリンピックを口実とした関連公共工事による環境破壊、関連事業を含むと8兆円にも及び膨大な財政負担、ナショナリズム大イベントとしての強要や、治安対策の強化、e.t.c.……。私たちは地球規模での持続可能な社会のあり方に逆行する「東京オリンピック」に反対です。

この夏、みどり三多摩ではオリンピックはいらぬ東京ネットと共同でオリンピック東京招致に反対するアピールをしてきました。

さらに来年4月の都知事選挙も視野に、広く呼びかけて取り組んでいきます。

●街頭シール投票

7/23 立川駅前 賛成 60票 反対 191票

8/19 新宿駅東口 賛成 120票 反対 122票

●JOCへ申し入れ

8/8 東京開催反対を申し入れ、各委員にも申入書を送付

8/30 国内候補地選考会場で反対アピール

●記者会見

7/20 立川市役所で→日経、読売新聞に記事掲載

8/8 都庁で→朝日、毎日、読売、日経、東京新聞に記事掲載



7/23 立川駅でのシール投票

みどり三多摩も
参加しています
ぜひ、ご賛同を!

なくそう!議員特権 つながろう!みどり・共生・平和の市民派議員
キャンペーン2007

www.no-giintokken2007.net

2004年夏、私たちは「みどりの会議」に賛同して三多摩地域で参議院選挙に取り組みました。中村敦夫さんをリーダーに、ダム問題の藤田恵さんや食品問題の安田節子さん、さらに小林一朗さんはじめ若いメンバーなど10人の比例候補によるチャレンジは、議席は得られませんでした。緑の政治への思いを明らかなものにしました。

「みどり三多摩」はそのなかでできたネットワークを大切にしながら相談会やオープンフォーラムを重ね、2006年7月2日に発足した地域政党をめざすグループです。

会員を紹介します

現在会員約 50 名
敬称略・アイウエオ順

●アドバイザーは…

- *政策立案のために協力していただくみなさんです
- 安積遊歩/ピア・カウンセラー
- 内田雅敏/弁護士
- 酒井和子/均等待遇アクション21事務局
- 瀬戸昌之/東京農工大学、日の出の森・支える会代表
- 福士敬子/東京都議会議員
- 真下俊樹/欧州緑の党研究者
- 諸橋泰樹/フェリス女学院大学(社会学、女性学)
- 山田 真/小児科医

●議員の会員は…

- 遠藤めい子/多摩市
- 大沢ゆたか/立川市
- 漢人あきこ/小金井市
- 重松朋宏/国立市
- 清水のぶゆき/狛江市
- 陣内やすこ/八王子市
- 長瀬りつ/東大和市
- 中西千恵/日の出町
- 中森富久/福生市
- 橋本久雄/小平市
- 門間ひで子/羽村市
- 森てるお/西東京市

持続可能な
社会をつくる
10の
キーワード

- 三多摩“圏”
- エコロジー
- 脱経済成長
- スローライフ
- 社会的公正
- 参加民主主義
- 多様性
- 非暴力
- フェミニズム
- 未来志向

三多摩のごみ処分場問題は まだ終わっていない!

立川市議 大沢ゆたか

■11年後に不当判決

9月13日東京地裁八王子支部にて「処分場建設差止訴訟」に判決がありました。判決では「遮水シートの破損の可能性はあるが、浸出水に問題はない」、「処分場から灰が飛散している可能性はあるが、ダイオキシンは基準内で問題はない」、「がん死亡率についての原告らの調査は風評に基づくもので、非科学的で信用できない」として原告の訴えを退けました。

■行政こそ調査を

10年程前、谷戸沢処分場直下の集落でガン死者が多発しました。この事実を私たちは丹念に調査をしました。しかし、判決ではその努力を「風評」として切り捨てています。この判決では処分場の危険性について、原告側に立証が求められています。疫学調査や環境調査は本来行政がおこな

うべきですし、住民と行政では権限の面でも資金面でも明らかに差があります。

■ごみ行政を根本的に変えよう

私たちが当初から訴えていたのは「住民と行政がともに考えてごみ処分のありかたを変えよう!」ということでした。「燃やして埋める」というごみ行政を「ゴミの出ない生産・流通・消費・廃棄・循環システムへ」と変えていこうと訴えてきました。その根本はEPR=拡大生産者責任(メーカーは製品に責任を持つだけでなく廃棄にまで責任を拡大すべき)にこそありますが、政府・財界の抵抗で完全実施には至っていません。

三多摩地域では20年間で1000億円もかかる危険で無駄な「エコセメント化事業」が開始されましたが、人口400万人を抱える三多摩地域ならば「エコセメント化事業」よりも生産・流通・販売業者に協力を依頼し、EPRの実験をするほうが「ごみ問題の解決」に向かうのではないかと考えています。

会員募集!

みどり三多摩

■事務局

小金井市本町 2-19-36
Tel/Fax 042-387-3787

■振込口座

- ・名称:みどり三多摩
- ・多摩信用金庫
- 一ツ橋学園支店 0262820
- ・郵便局 00180-6-555631

■共同代表

漢人あきこ 重松朋宏

■運営委員

- 大賀英二 大沢ゆたか
- 陣内直行 橋本久雄
- 増保真彦 門間ひで子
- 吉田和雄

